

ボーイスカウト東京連盟
あすなろ地区 広報誌
第20号

2018年 6月 19日
組織拡充委員会

地区年次総会開催 地区表彰、地区有功記念章

4月26日(木)、あすなろ地区の第9回地区年次総会が阿佐谷地域区民センターで開催されました。
地区年次総会において表彰、受章された方は次の通りです。(敬称略)

【あすなろ地区 地区感謝状】

豊田哲也 あすなろ地区の役員、杉並4団の副団委員長、育成会長を永年務められ、昨年11月に他界されました。
中野2団 団登録は平成29年度から非継続となり、会計整理後の資金をあすなろ地区に寄贈いただきました。

【あすなろ地区 表彰状】

中野8団：南川 繁明、綾田 雄公、小倉 俊一、沼上 拓洋 **杉並3団**：太田 哲平 **杉並5団**：稲川 靖代、
元植 美萌、湖西 祥平、大原 俊、池田 明子 **杉並11団**：奥村 京錦、橋場 あゆみ、升岡 節子
杉並12団：橋田 典幸、後藤 ひとみ、小川 和哉、小平 吉彦、中原 一行 **杉並13団**：大武 佳子



中野8団 綾田雄公



杉並11団 奥村 京錦



杉並12団 小平吉彦

【あすなろ地区 地区有功記念章】

中野8団：河治 直樹、沼上 晶子、清田 義隆 **杉並4団**：水野 雄大 **杉並6団**：細川 浩史

続いて議事に入り、平成29年度の事業報告と決算の報告、平成30年度の事業計画、予算案の承認、地区役員の選任などが審議され、原案通り承認されました。

地区役員の選任については、地区協議会長に杉並6団の岡村 實、地区委員長に杉並11団の佐藤武信の選任が承認されました。

また地区副協議会長に杉並11団の高橋宏人、副事務長として杉並3団の太田 昇が承認されました。



佐藤地区委員長より議案の説明



総会の参加者



岡村地区協議会長、太田副事務長の挨拶

大人の成長が大きな力に

あすなる地区協議会長

岡村 實

弥生3月末のあすなる地区団委員長会議でご推薦をいただき、4月26日の地区総会にて地区協議会長に選出いただきました。

大任ではありますが、あすなる地区の発展のため、精一杯職責を果たす覚悟ですので、どうぞよろしくお願いたします。

地区総会での挨拶でも述べさせていただいた通り、「この運動の主役はスカウト」ではありますが、主役をしっかりと支えるためには、団委員長をはじめ、団・隊の指導者、さらにはスカウトの保護者の皆様、地域の方々を含めた「成人の支援」が不可欠です。

特に団・隊の成人指導者は、プロ意識を持ってスカウトに接することが大切です。子供達は大人の背中を見て育ちます。大人が質の高い、品格ある行動をする事が必要です。これはまさに「ちかいとおきて」の実践に繋がることと思います。

「プロフェッショナルとは誇りと自信を持つこと」と言われています。そのためには、成人指導者の皆様にも、これまで以上の成長を遂げてほしいと思います。

成長には、「研修、経験、自己研鑽」の3つの方法があります。指導者の皆様が導入訓練であるボーイスカウト講習会に参加し、着実に研修所、実修所で学び、その成果をそれぞれの団・隊での活動で実践していくことが肝要です。その中でさらに自分を成長させる自己研鑽を積むことが大きな力になります。

これらの大人の研鑽を積み重ねることが、スカウト数増加の近道と信じています。あすなる地区としても、皆様方の要望に対応し、皆様の成長を側面支援できたらと思っています。

さらに、より活性化したあすなる地区にするには、コミュニケーションが活発であることと痛感しています。皆様のご意見、ご要望を是非あすなる地区にお寄せ下さい。

ご参考までに、私のメールアドレス (oscar314mino@jcom.home.ne.jp) を記しておきます。

お寄せいただいたご意見、ご要望をすべてを実現できるとは限りませんが、自然界において生き残る種は「最強でも、最大でもなく、最も変化に対応出来た種」と言われているように、あすなる地区としても、守るべき事はしっかりと抑え、時代の変化に対応できる組織になるべく、皆様と一緒に努力していきたいと思っています。

どうぞよろしくお願いたします。



東京連盟年次総会で表彰 県連有功章、優良団

5月19日(土)、東京連盟年次総会が国立オリンピック記念青少年総合センターで開催され、あすなる地区では以下の方が県連有功章を受章しました。

また、平成29年度と平成30年度の継続登録時を比較して、スカウトが5名以上増加した優良団と、平成30年度継続登録時にスカウトを60名以上登録している団として、あすなる地区では以下の団が紹介されました。

【県連有功章】 中野8団：中村 俊幸 杉並4団：的場 健 杉並6団：森山 武彦

【5名以上増加の団】 中野8団(21名)、杉並9団(8名)、杉並11団(12名)、杉並13団(5名)

【60名以上登録の団】 杉並11団(スカウト65名、全登録数98名)

日本連盟全国大会で受章

日本連盟全国大会が5月26日～27日、岐阜県長良川国際会議場で開催されました。

杉並4団団委員の村山正己さんは、あすなる地区役員として、また日本連盟副リーダートレーナーとして多年にわたる功勞により、日本連盟奥島理事長から功勞章「かつこう章」が授与されました。

「かつこう章」はボーイスカウト日本連盟から授与される功勞章で、スカウト活動に長年(25年以上)貢献し、自団のみならず、地区・県連の奉仕に実績のある方に授与されるものです。

また杉並13団CS隊長の幾代 貴さんは、日本連盟より褒状が授与されました。



菊スカウト章の伝達

4月21日(土)、阿佐谷地域区民センターで開催された地区委員会の前に、菊スカウト章の伝達式が行なわれ、杉並5団の富田蓮大さんに佐藤地区委員長より菊スカウト章が伝達されました。



菊スカウト章、隼スカウト章の伝達

5月24日(木)、阿佐谷地域区民センターで開催された地区委員会の前に、以下のスカウトの菊スカウト章と隼スカウト章の伝達式が行なわれました。

菊スカウト章 杉並11団 佐藤 颯、大森 直幸 隼スカウト章 中野5団 原口 輝



隼スカウト章への挑戦

中野5団 原口 輝 (上段写真の前列右)

隼スカウト章の取得には技能章や、レポートの提出が必要ですが、「ベンチャープロジェクト」について、私は自団で上級班長を担当しているため、ジュニアリーダーとして、約半年間のボーイ隊の活動に絡める形で、指導の内容と隊運営の成果について、活動内容を記録した表を作り、写真や感想、反省点などを書きました。ただ、進級面接の時には、レポート内容の質問が多いため、出来るだけ自分の考え方を細かく書くのがコツであると思います。

隼スカウト章に挑戦する皆さんには、ベンチャープロジェクトの実施方法に悩んで時間を無駄にせず、自分の興味あることは何かを考えて挑戦するテーマを早めに決め、計画、実施して進級してほしいと思っています。

29年度の技能章

29年度中にあすなる地区各団で取得された技能章は表の通りです。



	杉並11	杉並12	杉並13	中野3	中野5	中野8	中野11	計
野 営 章			1	1	1	1	1	5
野 営 管 理 章	5		1				1	7
救 急 章					1		1	2
炊 事 章				1	1	1	1	4
水 泳 章						3	1	4
裁 縫 章	1							1
森 林 愛 護 章		1						1
測 候 章		1						1
ス キ ー 章				1				1
武 術 ・ 武 道 章	2		1					3
計	8	2	3	3	3	6	4	29

ボーイスカウト講習会

5月27日(日)、東京連盟第273回ボーイスカウト講習会が中野区南部すこやか福祉センターで開催されました。主任講師は日本連盟副リーダートレーナーの水野重俊さんで、指導者や保護者など29名が参加し、4つの班を作りました。

戸外での活動では、トレーニングチームのスタッフにより、上級班長が班長会議を開催し、班長訓練をする様子が演じられ、各班長は班集会を開催してロープのむすび方の練習をしたり、班員の歩幅を計測しました。

ハイキングの出発前には、上級班長を囲んでスカウトOWNがあり、準備のできた班から、地図を片手に近くの氷川神社などを巡って、キムスゲームや神社参道の長さを歩測しました。

参加者からは「子供たちに責任を持たせることの重要さや、子供を信頼することにより自主性をはぐくむことに気付かされました」などの感想がありました。



全員で記念撮影



緊張を解くゲームから開始



主任講師のお話し



青空のもとでのセッション



ひきとけ結びの練習



班集会



歩測



協力して飲み物のボトルをゲット



みんなで大きな輪をつくらう！



カブコール



いつも元気！



主任講師から修了証の授与

日本ジャンボリーにそなえ 地区訓練キャンプ

8月4日から、石川県珠洲市で開催される第17回日本ジャンボリーに備えて、6月9日(土)～10日(日)、八王子のひよどり山キャンプ場で、あすなる地区の訓練キャンプが開催され、スカウト66名、指導者21名、地区本部8名の計95名が参加しました。9日は陽射しの強い天気でしたが、就寝する頃には豪雨があり、翌日も梅雨模様でした。

あすなる地区より参加する3つの混成隊は、ジャンボリー会場と同様の25m四方の隊キャンプサイトで隊毎に野営、炊事などの区画を設定してテントを設営し、プログラムや食事も隊ごとに行い、薪割りの練習もおこなわれました。

ジャンボリーを想定した配置、役割分担、時間配分などにより、必要な事項や課題を確認することができました。

また、各団の混成隊のため、初めて顔を合わせるメンバーもいるなかで、各隊のチームワークも醸成できました。

ローバー主催の合同営火では、各隊のスタンプや歌のほか、中野8団沼上志帆さん達3人が踊るジャンボリーのテーマソング「能登のチカラ未来へ」のダンス動画が映写幕に投映され、音楽、振付けに合わせて踊りを練習しました。



隊ごとに開営式



設営作業



設営作業



休憩



昼食



まき割りの練習



立ちかまどで炊事



各班でカレーライス、すき焼きなどの夕食



キャンプファイア



朝食

キャンプサイトの点検



上：合同朝礼で国旗掲揚
右：集合写真



発団50周年を迎えました

杉並6団

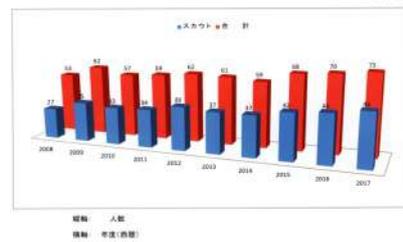
杉並6団は昭和43年に旧東京第283団として発足し、本年は50周年を迎えることから、6月16日(土)、杉並会館でお祝いの会を開催しました。

お祝いの会は連盟歌斉唱、物故者への黙とう、平方団委員長はじめ、来賓の方々の挨拶があり、佐藤地区委員長からは杉並6団の50周年を祝して、「伝統を守ることは大事であるが、しかし新しいものに取り組んで変えていくことも大事」との話がありました。

お祝いの会の司会進行役は、杉並6団ローバースカウトで、富士スカウト章を取得した猿田朝久さんが担当しました。

また、これまでの活動を記録したスライドが投映され、当時の指導者の方々がその頃のスカウト達の状況や苦労されたことなど、いろいろな思い出話をされました。

発団50周年を記念して発行された記念誌には、地蔵山野営場で開催された発団50周年キャンプや、50年を振り返ってのOB、OGと現指導者との座談会、各隊の活動状況、毎年増加している加盟登録員数の表、現在は6代目となるスカウトハウスの引越しの履歴など、50年のあゆみが編集されています。



平方団委員長の挨拶



佐藤地区委員長の挨拶



森山武彦団委員に県連有功章授与



元カブ隊長徳田達介さんの乾杯の音頭



立食形式のメニュー



なごやかに懇談



岡村ローバー隊長より感謝の挨拶



村山団担当コミショナーより弥栄の祝声



活動を記録した写真の展示

発団50周年を想う

杉並6団 団委員長 平方敏道

昭和43年5月12日、西荻北町会を育成母体とした日本ボーイスカウト東京連盟東京第283団（現杉並第6団）の発団式が杉並区立桃井第三小学校講堂でおごそかに挙行されてから、早いもので50年が経ちました。

高度経済成長期と言われた発団当時は、都内でのボーイスカウト運動もかなりの広がりを見せ、団数も増加していましたが、杉並区内においては5個団しかなく、西荻地域周辺を中心とした団の設立を望む声が高かったことに対し、青少年育成対策事業の一環として西荻北町会がそれに応え、当団が組織されました。初代の育成会長は西荻北町会長であった保谷勝二さん、団委員長は町会理事の高橋保市さんでした。

発団当初のスカウト数はボーイ隊6名、カブ隊32名、指導者は町会関係者や中央大学、法政大学ローバーが中心となり、当時の西部地区の先輩方の薫陶を受けながら、楽しくおもしろいスカウティングが展開され、当時カブスカウトだった私もその魅力にとりつかれ現在に至っています。

おかげさまで、当団も時代の変遷や人々との出会いとともに、さまざまな年輪を刻んで50周年を迎えることができました。

記念事業として、昨年9月には八王子の地藏山野営場でスカウト、指導者、育成会員が一堂に会した記念キャンプを行いました。ベンチャーやローバーが進行役となり、各隊混成のワイドゲームや大營火等、楽しく思い出深いキャンプとなりました。

またカブ隊から「団の設立経緯と50年の歴史を知って、カブニュースを作りたい！」との要望があり、その要望に応えるべく、発団当時の関係者にお集まり頂いて、座談会を行いました。その内容は50周年記念誌にも掲載され、記念誌の内容もよりいっそう充実したものになりました。

50周年の記念品は、ロゴマーク入りのマグカップを作りました。「ランプ」をかたどったロゴマークは、30周年の時に手島副団委員長がデザインしたもので、「一隅を照らす」という意味があり、現在もデザインを踏襲して、記念ネッカーチーフにもこのロゴマークが使用されています。

そして、本年6月16日に「ファイナルセレモニー」として、あすなる地区役員の方々や、お世話になっている地域の皆様、スカウトOBや友団の皆様にお集まりいただき、記念式典を挙行了しました。今はご高齢となられた発団当時の指導者の皆様の元気な姿に接して旧交をあたためることができ、誠に感慨深いものがありました。

今後も杉並6団は地域に根ざした活動を展開しながら、魅力ある指導者の支援のもと、社会に役立つ人作りを展開してまいります。スカウト達にとって楽しく面白いスカウティングは、様々な日常生活の中で、何事も自発的にやろうという意欲が増殖していきます。

創始者ベーデン・パウエルは「人生をゲームだと考えなさい」と言っていますが、ゲームにはルールがあります。スカウティングにおいては三つの「ちかい」を果たすことですが、「ちかい」を果たす行動規範は「おきて」の実践です。これらを日々実践努力することで、良き市民性が身につく、社会から求められる人となることができます。

スカウト仲間同士が絆を深くし、なお一層助け合って楽しくおもしろいスカウティングが展開できるよう、指導者達と支援を続けていきたいと思っています。

50周年を契機に、近隣のスカウト仲間をお迎えする事業も控えています。

今後とも様々な人との出会いを大切に、新たな年輪を刻んでまいりたいと思います。



杉並6団のメンバー



八王子・地藏山野営場での発団50周年記念キャンプ

中野区民ふれあい運動会で奉仕

中野の各団

5月20日(日)、第37回中野区民ふれあい運動会が中野区立第二中学校グラウンドで開催され、中野区内の障がい者とその関係者、一般の区民合せて、約700人が参加しました。

中野区内のボーイスカウト、ガールスカウトの各団は、初回から毎年ふれあい運動会の奉仕活動に参加しており、中野のボーイとベンチャーのスカウト、指導者20名が参加しました。

競技はスプーン競争、紅白玉入れ、パン食い競争、鈴割り、ファークダンスなどがあり、車椅子競争では速さを競うのではなく、設定された時間にどれだけ近いタイムでゴールできるかを競うため、参加された方は車椅子のスピードを加減しながらゴールしました。

スカウトは車椅子の方の介助や、開会式・閉会式ではプラカードを掲げ、ゴールではテープを持って、審判として着順に並んでもらいました。

また、運動会が円滑に運営できるよう、次の競技名のパネルを持って参加者の招集をしたり、視聴覚障がい者の方の伴走も行ない、スカウトの参加できる種目には障がい者の方と一緒に参加しました。



地区ローバーの新歓キャンプ

杉並13団ローバー隊 名和 舞雅

あすなろ地区ローバーは、5月19日(土)～5月20日(日)、新入歓迎キャンプ兼潮干狩りを開催しました。

参加者は各団で新しくローバーに上進した5名のスカウトを含み、総勢17名のローバーが集まり、とても賑やかなキャンプになりました。このキャンプの目標は「上進スカウトの歓迎と、スカウトスキルを磨く」ことです。

プログラムは19日の午前から始まりました。キャンプ参加者のうち6名で葛西海浜公園へ移動し、干潮の時間を狙って無料で楽しめる潮干狩り始めましたが、野生の貝しかない砂浜のため、貝はなかなか見つからず、自然の厳しさを体感しました。

帰りは車のバッテリーが上がって動けなくトラブルも発生しましたが、スカウトの一人がブースターケーブルをお持ちの方を見つけてきて、無事に大宮八幡宮へ帰ることが出来ました。スカウトの行動力に驚くとともに、協力いただいた方の親切さに感謝をしています。

大宮八幡宮のスカウトの森に到着したあと、夕食の準備をしました。参加者全員で火を囲み、潮干狩りでとれた貝を使った料理を食べ、自然の幸を感じました。また、夕食を食べながら、参加者全員の自己紹介や各団でのローバーの活動の様子など、たくさん話をすることで、新入スカウトとの交流を達成でき、また地区ローバー同士の関係を深めることもできました。

ボーイスカウトの現状の問題点や課題、そして今後ローバーとしてどうあるべきかについて、違う団のスカウト同士が遅くまで話しあっているところも見受けられ、地区ローバーとしての連帯感をお互いに高めることができたキャンプになったと思います。

各団のローバーが交流するこのようなプログラムを経て、あすなろ地区ローバーの活動がより自発的、かつ活発になっていくことが期待できます。

今回参加できなかったローバー達や、今後上進してくるベンチャーたちにも、地区ローバーの活動に興味を持ってもらえるよう、たくさんの企画をしていきたいと思います！

→
筆者
前列
左側



★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

あすなろ地区ローバーでは、杉並9団ローバー隊香川晶さんデザインのキャップを作成して、今回の新歓キャンプから使い始めました。香川さんは、あすなろの花は一本の枝にキラ星のようにたくさんの花が咲き、あすなろの花のように無数のつながりを持ちたい…という想いを込めて、あすなろの花と葉をデザインしました。キャップは地区ローバーに限らず、地区の皆さんに着用して欲しいので、ご希望の方は (asunaro.rover@gmail.com 杉並9団 望月) に申込みください。ラウンドテーブルの時にお渡します。

値段は2,500円で、あすなろ地区ローバーは補助があり、700円です。



特集 各団の募集活動

もみじ山公園で体験会

中野8団

6月3日（日）、中野8団はなかのZEROに隣接するもみじ山公園で、ボーイスカウト体験集会を開催しました。

テーマは「ボーイスカウトと自然体験をしよう！」で、6月3日は都会編として、また6月17日は野外編として葛飾区の水元公園へハイキングの二部構成になっており、団内で協力して区内の小学校などにチラシを配布しました。

体験希望の子どもたちと保護者の方はなかのZEROに集まって説明を受けたあと、子どもたちは学年に応じて、公園で集会をしていたビーバー隊、カブ隊の活動と一緒に参加しました。

ビーバー隊集会に参加の体験の子どもたちは、ビーバー2名の入隊式と一緒に体験し、グループに分かれたあと、公園内をミニハイキングしながら、指定された形の葉や特定の色や花などを見つけるビンゴゲームをしました。

カブ隊では、指の長さ、身長、歩幅を知って計測する活動に参加しました。

また、子どもたちが公園で活動している間、なかのZEROの学習室で保護者の方へ、ボーイスカウト活動の概要や各隊の活動を取りまとめた資料をもとに、説明会が行なわれました。

6月17日の水元公園では、子どもたちはアルミ缶でご飯を炊き、カレーライスを作る予定です。

また今回の催しは、国立青少年教育振興機構の「子どもゆめ基金助成活動」として活動資金の支援を受けました。



集った子どもたちと保護者



ビーバー隊の敬礼の仕方など説明



大きな仲良しの輪



自然ゲームについて説明



公園の中をミニハイク



ボーイ隊はキャンプの準備



カブ隊の組集会



体験者を交えた集会



保護者への説明会

体験イベント なんでもスムージー

中野11団

5月20日(日)、中野11団のビーバー隊とカブ隊は、弥生区民活動センターで体験イベントを開催しました。

今回の体験イベントは「なんでもスムージー！」として、参加者が持ち寄った果物、野菜などを使ってミキサーにかけ、オリジナル・スムージーを作るものです。

事前にチラシや団のホームページで、年長から小学5年生とその家族の参加者を募り、団員が声かけした方も含めて、多くの子ども達が集りました。

持ち物はスムージーに使える果物や野菜一人分で、バナナなら1本、リンゴなら1個程度で、先に提出しておきます。

会場近くの公園で、参加者はくまの絵が描かれたカードを木立の中などから探し出し、カードの裏面に記された番号により、「くまさんからもらった食材」として、どの野菜や果物を使うかを決めました。

集った食材はバナナ、リンゴのほか、いちご、パイナップル、すいか、アボガド、グレープフルーツや、トマト、にんじん、こまつななどの野菜もありました。

食材は子どもたちが包丁、まな板を使って、ミキサーに入るぐらいに小さく切り、どんぶりに入れ、好みに応じて、砂糖、はちみつ、カルピスなどを入れました。

食材は単品だけでなく、お互いに相談して混ぜ合わせることもでき、あらかじめ作っておいた牛乳入りの氷も加えて、ミキサーにかけました。

それぞれ色も、味も違うオリジナルのスムージーが出来上がり、みんなで「いただきます！」で乾杯し、余った食材で違うスムージー作りも楽しみました。

ボーイスカウト中野11団 体験イベントのお知らせ

なんでもスムージー!

～「なんでもスムージー!」とは～
みんなで持ち寄った果物、野菜等と、ゲームで獲得した材料(内容は抽選)を使って、自分のオリジナル・スムージーを作ろう!

【日時・場所】
5月20日(日) 9:00開演
9:30～12:00 弥生区民活動センター2階
12:30～13:00 休憩

【対象者】
小学生～中学生(男女別)、その他家族

【持ち物】
スムージーに使える果物や野菜(1人分)
1人分あたり1個程度
※バナナ、リンゴは1本程度
※野菜は1人分程度

参加費無料

ホームページもチェック!
お申込みは
http://scn11.net/

〒166-8504 東京都中野区中野1-11-1
TEL: 03-6364-2001 (09:00～17:00)



善福寺川緑地で防災体験とBS体験

杉並12団

杉並12団では、発団した5月5日を記念して、毎年発団記念行事を開催しており、本年は5月6日(日)、善福寺川緑地で防災体験を開催しました。阿佐ヶ谷駅北口の神明宮に集合し、集合中に地震が発生したことを想定して、避難場所となっている善福寺川緑地まで、約1.8kmある経路を確認しながら歩きました。

参加者はスカウトのほか、4月22日に開催したボーイスカウト一日体験に参加した子供や、チラシ、団ホームページの案内を見て参加した子供など、多くの子供達も参加しました。

開会式では公園の管理者より、善福寺川緑地は災害発生時の避難場所となっていることから、マンホール型のトイレ、貯水槽などの設備がされていること、ベンチの座る部分を外してかまどとして利用できることの説明をいただき、皆で園内の枯れ枝を拾い集めて炊事に使う薪にしました。

事前に杉並区防災課より、賞味期限が近くなった災害備蓄用食品として、お湯を注ぐだけでできる五目御飯とカップ入りの味噌汁、クラッカーをいただいたので、ローバー、ベンチャーのスカウトがかまどでお湯を沸かして昼食の用意をしました。

スカウトと子供達がチームに分かれて、公園内でキムスゲーム、ロープワーク、担架作りの各ポイントをまわっている間、クラッカーの上にポテトサラダ、キュウリ、バナナ、ジャムを盛り付けました。

また災害で炊具のないことを想定し、アルミの空缶に食用油と塩、とうもろこしを入れて、かまどでポップコーン作りも試みました。

木陰でチームごとに五目御飯と味噌汁のお昼ご飯をいただいたあと、午後は広い芝生を駆けまわって野外でのゲームを楽しみ、ゲーム中には参加いただいた保護者向けの説明会を開催しました。



ベンチをかまどに改造



枯れ枝を集めてたきぎに



湯沸かしの開始



クラッカーに盛り付け



お湯を注いで五目御飯づくり



空缶でポップコーンづくり



皆でゲーム



保護者の方に説明会



全員で記念写真